

報告事項

(昨年の議事及び漁場整備実施状況について)

1 昨年度の検討会での議事

(1) 令和4年度(2022年度)の構造物について

魚礁ブロック

8地区30漁場における魚礁ブロックについて、検討を行った。

(漁場名等は報告事項別紙のとおり)

増殖ブロック

3地区5漁場における増殖ブロックについて、検討を行った。

(漁場名等は報告事項別紙のとおり)

(2) 主な意見

令和4年度新規漁場及び新規着工工区等の使用想定構造物の選定について、特段意見はありませんでした。

(3) 参考意見

- ・ 魚礁が密集している室蘭沖から苫小牧、鷗川にかけて、魚礁群、魚礁帯が形成されていると考えることもでき、スケトウダラのような回遊魚が回遊経路に沿って利用しているのではないかと。空間的な整理と回遊魚の生活史を関連させて漁場整備を進めると良いのでは。
- ・ 近隣で人工種苗放流を実施している魚礁について、放流個体が実際に魚礁の内部で成育することが確認できれば、魚礁を選定する上での大きな利点となるので、効果調査等を検討するのであれば、その点も考慮されたい。
- ・ マダラを対象とした大水深帯の魚礁事業では、マダラより小型の他の対象魚種を捕食しないか調査されてはどうか。

2 令和4年度漁場整備実施状況

令和3年度検討会では、8地区35漁場(魚礁ブロック:8地区30漁場、増殖ブロック:3地区5漁場)について使用構造物を検討し、業務の参考となる意見をいただきました。

令和4年度事業では、各漁場とも検討会にて検討された構造物を選定し、事業を実施しています。